

科目	国語 (Japanese Language and Literature)		
担当教員	中本百合枝		
対象学年等	電子工学科・4年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	B-1(100%)	JABEE基準1(1) (d)2-b,(f)
授業の概要と方針	論理的文章が書けるよう訓練することを目標とする。そのためにさまざまなジャンルの作品を分析し、自分の文章に取り込んでみる。なお、実践的な日本語能力の養成を目的として編集されたテキストを用い、記述・発表・討論などにおいて正確に表現できるコミュニケーション能力を身につけることも、同時に目指していく。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B-1】日常生活やビジネスの場における正しい言葉遣いを習得する。		正しい言葉遣いについて理解できているか、授業中の発表や提出された文章によって、評価する。
2	【B-1】正しい敬語の使い方を習得する。		敬語の基本的な使い方が理解できているか、定期試験によって評価する。
3	【B-1】理論的な文章における客観性とは何かを理解する。		客観的な「事実」と自分の「意見」について理解できているか、提出物や定期試験によって評価する。
4	【B-1】理論的な文章の基本を習得する。		文体が統一された理論的な文章が書けるか、提出物や定期試験によって評価する。
5	【B-1】基本的なビジネス文書の書き方を習得する。		ビジネス文書の書き方を理解できたか、定期試験によって評価する。
6	【B-1】小論文の書き方の基本を習得する。		小論文を提出させ、型を守って論理的に書かれているかを評価する。
7	【B-1】正確な文章表現の基本を習得する。		正確で分かりやすい文章が書かれているか、提出物や定期試験によって評価する。
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、小論文その他提出物30%として評価する。試験は教育目標2,3,4,5,7について実施。演習・提出物は教育目標1,3,4,6,7について評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「プラクティカル日本語」：清水明美・岩沢正子・加藤清・武田明子・福沢健編（おうふう）		
参考書	「理科系の作文技術」：木下是雄（中央公論新社）		
関連科目	3年「国語」		
履修上の注意事項			

